

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

|      |             |
|------|-------------|
| 学校名  | ユービック情報専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 東洋学園   |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

|   |   |
|---|---|
| 1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。                           |   |
| (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)   |   |
| 【作成に係る取組み】  |   |
| シラバスの作成にあたっては、1月に次年度の教育内容を考えて、次年度使用教科書の選定を担当予定の先生方に依頼をしている。併せて、シラバスの作成準備もお願いしている。                   |   |
| 4月最初の日専任教諭と非常勤講師も含めた講師会全体会を実施し、学校の方針や生徒の情報の共有を計り、シラバス作成・提出の手順を説明し、随時提出後の点検をおこない、本校のホームページで公表している。   |   |
| シラバスには、到達目標・評価方法・授業計画などを記載する。   |   |
| 【公表に係る取組み】  |   |
| 生徒に対しては、新年度の最初の登校日に、教務規定から成績評価・卒業・進級規定等の抜粋、及びシラバスから授業科目の内容等の抜粋を印刷して、履修登録時に配布するとともに、これらの内容を説明告知している。 |   |
| 授業計画書の公表方法  | <a href="http://www.ubik.ac.jp/2021johokoukai/">http://www.ubik.ac.jp/2021johokoukai/</a> |
| 2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。                            |   |

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

授業を前・後期制とし、各期で中間・期末試験を実施し評価している。普段の学習成果を定期試験で計り、出席状況や学習態度・意欲・レポート等で平常点を計り、その合計で評価をしている。成績不振者は長期休業期間だけでなく、普段の課業日から補習を実施し、学習を補っている。

成績評価については①中間・期末試験の素点 100 点満点の 70%換算し、②平常点（出席率・課題提出・授業態度等）を 30 点満点で行い、①と②の合計点を算出し、下記の段階により、優・良・可・不可の評価を行っている。

|    |              |
|----|--------------|
| 優  | 100 点 ~ 90 点 |
| 良  | 89 点 ~ 75 点  |
| 可  | 74 点 ~ 60 点  |
| 不可 | 59 点 ~ 0 点   |

また、単位認定については、各科目において出席時数の 3 分の 2 以上で、かつ成績評価が不可でない場合に単位を認定している。

科目担当者が行った評価結果について、校内成績判定会議による履修認定を実施している。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

定期考査の成績を優・良・可・不可の 4 段階で評価しており、2019 年度末より G P Aを算出し生徒指導を行ってきた。今年度も前期・後期において、この客観的な指標をもとに生徒指導を行っていく。

指標の算出方法は、下記の通りである。

| 可否区分  | 評価 | 評価点          | グレード・ポイント |
|-------|----|--------------|-----------|
| 合格    | 優  | 100 点 ~ 90 点 | 4         |
|       | 良  | 89 点 ~ 75 点  | 3         |
|       | 可  | 74 点 ~ 60 点  | 2         |
| 不合格   | 不可 | 59 点以下       | 1         |
| 履修取消し |    | G P A計算対象外   |           |

③ G P Aの算出方法

$$\frac{4 \times \text{優の修得単位数} + 3 \times \text{良の修得単位数} + 2 \times \text{可の修得単位数} + 1 \times \text{不可の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数 (不可の単位数を含む)}}$$

・ G P Aは、小数点第 2 位以下を四捨五入するものとする。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

<http://www.ubik.ac.jp/2021johokoukai/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

次の規定により、卒業判定会議で校長の確認・決定の上認定する。

1. 出席時数の確認と前期・後期の試験での成績評価による単位認定後、学科とに定められた単位数（原則として35時間を1単位とする）の80%以上を取得していること。
2. 3分の2以上の授業に出席していること。

なお、新入生オリエンテーションや授業科目の履修登録の際に、成績評価や進級・卒業の規定を印刷・配布し内容の説明を行っている。

また、各期の定期考査後には個人面談を実施し、進級・卒業について話し合っている。また、本校の学科・コースはその名称からも目標の資格や職業が明確なため、面談を通じて生徒に目標実現を促す指導をしている。保護者面談も年2回実施し情報共有をしている。なお、必要に応じて個人面談・保護者面談を実施している。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<http://www.ubik.ac.jp/2021johokoukai/>